



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社ビジョン 上場取引所 東
 コード番号 9416 URL <https://www.vision-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 佐野 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 中本 新一 (TEL) 03-5287-3110
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	26,111	9.0	4,317	16.1	4,373	16.2	2,869	14.1
2023年12月期第3四半期	23,953	29.6	3,717	90.7	3,764	92.6	2,514	97.9

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 2,901百万円(12.1%) 2023年12月期第3四半期 2,588百万円(89.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	59.33	58.98
2023年12月期第3四半期	51.36	50.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	23,814	17,115	70.3
2023年12月期	21,366	14,607	67.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 16,742百万円 2023年12月期 14,389百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	13.00	—		
2024年12月期(予想)				14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,145	13.6	5,707	33.3	5,738	32.3	3,797	25.5	78.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	50,191,300株	2023年12月期	50,505,300株
2024年12月期3Q	1,761,711株	2023年12月期	2,171,681株
2024年12月期3Q	48,364,134株	2023年12月期3Q	48,958,878株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復しています。

ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響等、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

このような経済環境の中、当社グループは主力事業であるグローバルW i F i 事業、情報通信サービス事業及びグランピング・ツーリズム事業に注力し、社会のニーズに柔軟に対応すべく努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、いずれも前年同期を上回る結果となっております。

なお、前第3四半期連結累計期間のグローバルW i F i 事業においては、厚生労働省から東京空港検疫所支所等の業務（検疫業務に係る支援業務。以下「支援業務」といいます。）を受託等し、支援業務等の売上高が約18億円、営業利益が約5.4億円ございました。ただし、新型コロナウイルス感染症の位置づけは5類感染症に引き下げられました関係上、支援業務等は現在行っておりません。これらのことを踏まえ、支援業務等の実施額を差し引いて比較した実質的な実績は、売上高約39.8億円増（前年同期比18.0%増）、営業利益約11.4億円増（前年同期比36.3%増）と前年同期を大きく上回る結果となっております。

	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	26,111	23,953 (22,129)	2,157 (3,982)	9.0 (18.0)
営業利益	4,317	3,717 (3,168)	600 (1,149)	16.1 (36.3)
経常利益	4,373	3,764	609	16.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,869	2,514	354	14.1

※ 括弧内は前期の支援業務等の実施額を差し引いた比較となっております。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

(グローバルW i F i 事業)

当第3四半期連結累計期間において、円安の追い風を受けた訪日旅行市場は活況に推移し、訪日外客数は2019年同月比では8か月連続で同月過去最高を記録する等、当第3四半期連結累計期間における2019年比では110.1%の2,688万人となり、2019年の年間累計を上回る結果となりました。

日本人出国者数は、昨年の水際対策終了後から回復傾向はみられましたが、円安、燃油高騰、現地の物価高等の経済的要因に加え、不安定な国際情勢等から、当第3四半期連結累計期間における2019年比では63.0%の949万人と緩やかな回復となりました。（出典：日本政府観光局（JNTO））

このような事業環境の中、インバウンドにおいては、訪日外国人向け日本用W i F i レンタル「N I N J A W i F i」と、空港カウンターで展開している自動販売機でのS I Mカードの販売も順調に推移しました。

アウトバウンドにおいては、法人需要が堅調に推移していることに加え、データ容量「無制限プラン（4G・5G）」の需要が高い水準で推移していることから、顧客単価は引き続き高水準を維持できております。また、次世代通信「World e S I M」の販売にも注力いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、セグメント利益は前年同期を上回りました。支援業務等の実施額を差し引いて比較した実質的な実績は、売上高約24.3億円増（前年同期比20.1%増）、セグメント利益約9.3億円増（前年同期比26.6%増）と前年同期を大きく上回る結果となっております。

グローバルW i F i 事業	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	14,542	13,933 (12,108)	608 (2,433)	4.4 (20.1)
セグメント利益	4,439	4,056 (3,507)	382 (931)	9.4 (26.6)

※ 括弧内は前期の支援業務等の実施額を差し引いた比較となっております。

(情報通信サービス事業)

当第3四半期連結累計期間において、「第177回中小企業景況調査」によると、当事業が主にサービスを提供する中小企業においては、全産業の業況判断D I (Diffusion Index 企業の業況感や設備、雇用人員の過不足等の各種判断を指数化したもの)は2024年7～9月期は前期から1.4ポイント減と2期ぶりに低下しております。

このような事業環境の中、中途採用を積極的に進めながら営業力強化を行った結果、OA機器と移動体通信機器販売、電気の取次事業(エコソリューション事業)が好調に推移しました。

また、将来的なアップセルやクロスセル、長期的な解約率の低減、ストック商材による継続的収入といった、ライフタイムバリュー(顧客生涯価値)の最大化を図り、自社ストックサービスの拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、セグメント利益は、前年同期を上回り、過去最高となりました。

情報通信サービス事業	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	10,752	9,278	1,474	15.9
セグメント利益	1,280	929	351	37.8

(グランピング・ツーリズム事業)

当第3四半期連結累計期間において、観光庁の「インバウンド消費動向調査」によりますと、2024年7～9月期においては、訪日外国人旅行消費額は1兆9,480億円(2019年同期比64.6%増)と推計されております。

また、費目別に訪日外国人旅行消費額の構成比をみますと、宿泊費が6,555億円(33.7%)と最も多く、2019年同期と比べますと、3,023億円(3.8%)増加しております。

グランピング市場におきましても、更に期待の高まる市場であるといえます。

このような事業環境の中、2022年12月にオープンした「VISION GLAMPING Resort & Spa 山中湖」(山梨県山中湖村)、及び2023年9月に温泉旅館とグランピングの顧客体験要素をミックスした「温泉旅館グランピング」を増設した「VISION GLAMPING Resort & Spa こしかの温泉」(鹿児島県霧島市)ともに、前年同期より稼働率が向上しております。更に外国人の宿泊者も増加しており、顧客単価の向上に繋がっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高、セグメント利益はともに前年同期を上回りました。

グランピング・ ツーリズム事業	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期 (百万円)	増減 (百万円)	増減率 (%)
売上高	810	689	120	17.4
セグメント利益	88	76	12	16.4

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は23,814百万円(前連結会計年度末比2,447百万円増)となりました。

流動資産は、17,849百万円(前連結会計年度末比2,403百万円増)となり、その主な要因は、現金及び預金が371百万円、売掛金が2,175百万円それぞれ増加したことによるものです。

固定資産は、5,964百万円(前連結会計年度末比44百万円増)となり、その主な要因は、有形固定資産が248百万円増加した一方で、のれんの償却等により167百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は6,698百万円(前連結会計年度末比60百万円減)となりました。

流動負債は、5,982百万円(前連結会計年度末比9百万円増)となり、その主な要因は、支払手形及び買掛金が469百万円増加した一方で、未払法人税等が498百万円減少したことによるものです。

固定負債は、715百万円(前連結会計年度末比69百万円減)となり、その主な要因は、長期借入金が88百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は17,115百万円(前連結会計年度末比2,507百万円増)となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が1,975百万円、株式報酬費用の計上により新株予約権が154百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年6月21日に発表した通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,221,202	10,592,340
売掛金	3,713,323	5,888,989
商品	305,559	313,601
貯蔵品	5,957	20,619
その他	1,377,591	1,283,433
貸倒引当金	△177,158	△249,255
流動資産合計	15,446,475	17,849,728
固定資産		
有形固定資産	3,188,305	3,436,647
無形固定資産		
のれん	1,248,924	1,081,920
その他	104,990	104,466
無形固定資産合計	1,353,914	1,186,386
投資その他の資産		
その他	1,468,162	1,446,983
貸倒引当金	△90,351	△105,574
投資その他の資産合計	1,377,810	1,341,409
固定資産合計	5,920,030	5,964,443
資産合計	21,366,505	23,814,172
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,229,622	1,698,945
1年内返済予定の長期借入金	120,665	138,530
未払法人税等	1,203,290	705,063
賞与引当金	439,572	242,429
その他	2,980,577	3,197,922
流動負債合計	5,973,728	5,982,892
固定負債		
長期借入金	601,451	512,860
その他	183,690	203,032
固定負債合計	785,141	715,893
負債合計	6,758,870	6,698,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,571,601	2,613,281
資本剰余金	2,637,682	2,431,279
利益剰余金	11,663,013	13,638,777
自己株式	△2,645,942	△2,135,908
株主資本合計	14,226,354	16,547,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,563	△8,770
繰延ヘッジ損益	—	△698
為替換算調整勘定	172,936	204,781
その他の包括利益累計額合計	163,373	195,312
新株予約権	217,907	372,645
純資産合計	14,607,635	17,115,387
負債純資産合計	21,366,505	23,814,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	23,953,947	26,111,617
売上原価	10,610,151	10,929,811
売上総利益	13,343,796	15,181,805
販売費及び一般管理費	9,626,282	10,864,011
営業利益	3,717,513	4,317,793
営業外収益		
受取利息	522	594
受取配当金	6,883	4,024
持分法による投資利益	—	15,939
助成金収入	30,444	26,452
その他	30,536	21,953
営業外収益合計	68,387	68,964
営業外費用		
支払利息	8,809	8,189
持分法による投資損失	6,222	—
その他	6,294	4,946
営業外費用合計	21,326	13,135
経常利益	3,764,574	4,373,622
特別利益		
投資有価証券売却益	84,282	11,525
解約戻入益	9,370	—
特別利益合計	93,652	11,525
特別損失		
固定資産売却損	—	698
固定資産除却損	24,034	43,460
特別損失合計	24,034	44,158
税金等調整前四半期純利益	3,834,192	4,340,988
法人税、住民税及び事業税	1,378,889	1,360,876
法人税等調整額	△59,584	110,900
法人税等合計	1,319,305	1,471,776
四半期純利益	2,514,886	2,869,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	499	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,514,387	2,869,211

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	2,514,886	2,869,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,642	792
繰延ヘッジ損益	—	△698
為替換算調整勘定	63,858	31,845
その他の包括利益合計	73,500	31,939
四半期包括利益	2,588,387	2,901,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,587,888	2,901,150
非支配株主に係る四半期包括利益	499	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社の税金費用は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス 事業	グランピン グ・ツーリ ズム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	13,933,702	9,263,180	680,623	23,877,506	76,441	23,953,947	—	23,953,947
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	14,936	9,133	24,070	4,411	28,482	△28,482	—
計	13,933,702	9,278,117	689,757	23,901,577	80,852	23,982,430	△28,482	23,953,947
セグメント利益 又は損失(△)	4,056,800	929,016	76,050	5,061,866	△113,220	4,948,646	△1,231,132	3,717,513

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,231,132千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

情報通信サービス事業セグメントにおいて、ZORSE株式会社の株式を取得し、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、276,145千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	グローバル W i F i 事業	情報通信 サービス 事業	グランピン グ・ツーリ ズム事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	14,542,247	10,730,561	809,677	26,082,486	29,131	26,111,617	—	26,111,617
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	21,878	342	22,221	52	22,273	△22,273	—
計	14,542,247	10,752,439	810,020	26,104,707	29,183	26,133,890	△22,273	26,111,617
セグメント利益 又は損失(△)	4,439,307	1,280,250	88,502	5,808,061	△144,390	5,663,670	△1,345,877	4,317,793

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業、カタログ販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,345,877千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	376,679千円	508,089千円
のれん償却額	153,495千円	173,039千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。